

○ 駒村委員メモ

半ページくらいで、現状認識ということで以下のようにしました。

社会経済の仕組みは、産業システム、労働システム、金融システム、社会保障システムそして教育システムといったようないくつかの制度によって構成されている。そして、それぞれの制度が相互作用をもちながら、全体としてより効率的なシステムになるように調整、補完しあって、機能している。しかし、社会経済を構成する一つの制度が変化すると、他の制度との間での制度補完性が壊れはじめ、他の制度も含め、全体としてうまく機能するように調整、変化する必要が出てくる。しかし、多くの人々は現在の仕組みが今後も続くという前提で行動をしているため、制度変化には抵抗が伴う。こうしたいわば制度的に残る慣性のために、制度変化に時間がかかる。日本社会においても、グローバル化により、資本の国際移動が活発になると、金融システムは収益確保をするためにより短期的な経営視点を重視するようになり、その結果、雇用の長期安定、開発を目標とする日本的雇用制度を変質、縮小させる影響をもった。企業は長期的な視点で従業員を教育することができなくなり、これまで以上に教育システムに職業との関連で多くの期待を持つようになっている。

駒村